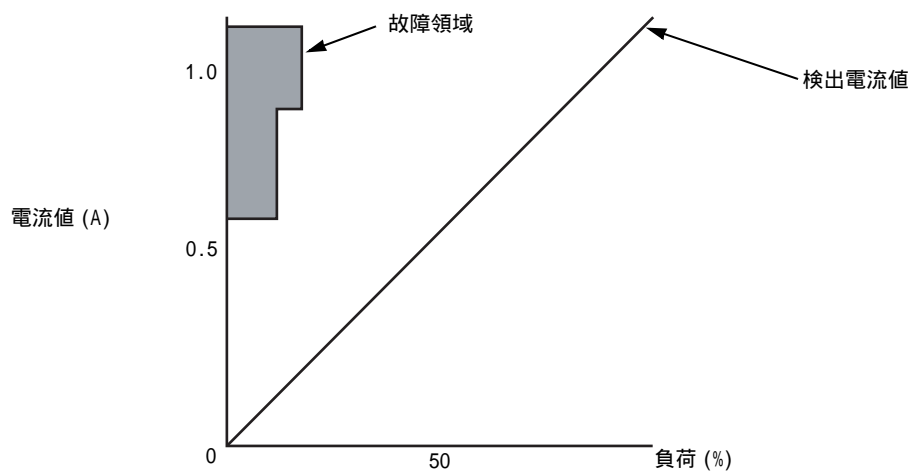
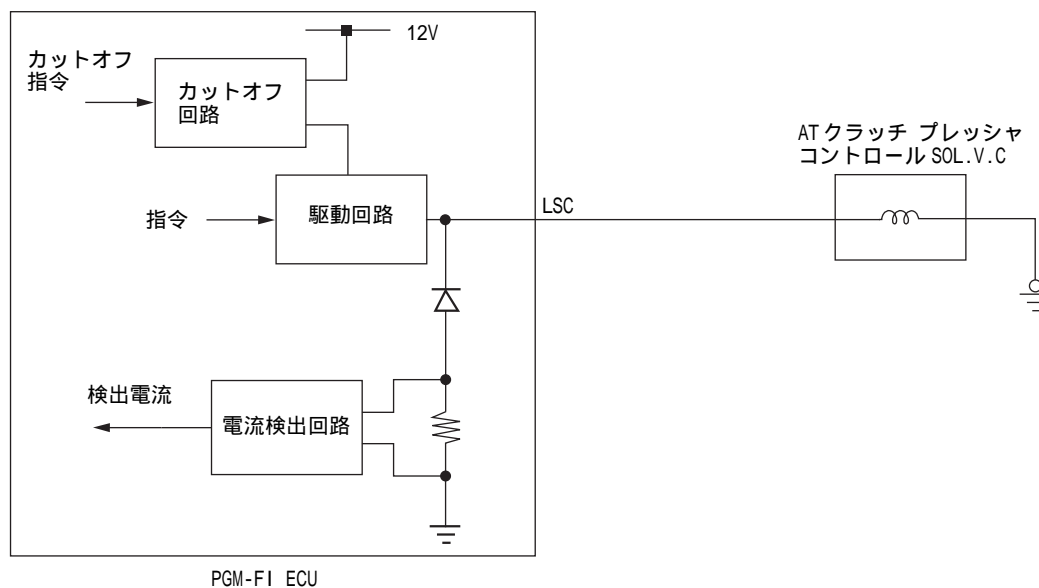


DTC 解説

DTC P0971: クラッチ プレッシュャ コントロール SOL.V.C 不良 (AT システム)

検知原理解説



AT クラッチ プレッシュャ コントロール SOL.V. は、油圧回路内の油圧の制御を行う。
AT クラッチ プレッシュャ コントロール SOL.V. 内のスプールは、PGM-FI ECU により電流値に変換されたデューティ (負荷) 出力に応じてバルブを押す。結果、スプールに押されたバルブは、電流値に比例した油圧を開放する。
PGM-FI ECU は、AT クラッチ プレッシュャ コントロール SOL.V. のリニア ソレノイドに流れる電流を測定し、デューティ出力の指令電流と比較した結果の差分をフィードバック制御している。
故障は断線、短絡あるいは一時的な断線、短絡により発生する。
デューティ出力指令電流に対し、測定電流値が所定値内に収まらない場合、PGM-FI ECU は故障と判定し、DTC をストアする。

DTC 解説

検知頻度・検知順序・検知所要時間・検知手法種別・ OBD ステータス

検知頻度	常時
(当該 DTC の) 検知順序	なし
検知所要時間	1 秒間以上
検知手法種別	1D/C(単一検知手法)、PGM-FI 警告灯： 消灯、D 表示灯： 点滅
OBD ステータス	正常判定、故障判定、未完了

D/C: Drive Cycle(ドライブ サイクル)

検知実行条件

条件項目	下限	上限
バッテリー電圧 [バッテリー電圧]	11V	
当該 DTC の検知禁止要求を行う DTC	P0962、P0963、P0970、P0973、P0974	

[]: HDS パラメータ

故障判定基準

PGM-FI ECU からの負荷に応じた指令電流に対し、測定された電流が次の状態で 1 秒間以上継続した場合。

負荷 (%)	測定された電流値 (A)
13.7 未満	0.6 超過
13.7-20	0.9 超過

推定故障部位

- ・ AT クラッチ プレッシュャ コントロール SOL.V.C 内部回路の短絡
- ・ AT クラッチ プレッシュャ コントロール SOL.V.C とボディ間コード (グランド ライン) の断線
- ・ PGM-FI ECU 内部回路の故障

再現テスト手法

HDS を使用する方法

なし。

実際の代表的テスト走行による方法

エンジンを始動し停止状態で 1 秒間以上待機する。

DTC のストアとクリア

DTC のストア

車両が故障と判定した場合、PGM-FI 警告灯が点灯することなく、D 表示灯が点滅し、PGM-FI ECU メモリにテンポラリ DTC、DTC およびフリーズ データがストアされる。

DTC のクリア

スキャン ツール (HDS を含む) のクリア コマンドの使用、もしくはバッテリー端子の取外しにより D 表示灯、テンポラリ DTC、DTC およびフリーズ データがクリアされる。